

中小規模の病院向け Web 型電子カルテシステム 「Open-Karte」の発売

2004 年 02 月 04 日

各 位

株式会社 日立メディコ
執行役社長 猪俣 博

株式会社日立メディコ(本社所在地: 東京都千代田区、執行役社長: 猪俣 博、資本金 138 億 8 千 4 百万円)は、医事会計システム、オーダシステム、電子カルテなど病院の運営に必要な機能を備えた中小規模病院向けの Web 型電子カルテシステム「Open-Karte(オープンカルテ)」を発売します。

※**医事会計システム**: 病院に来院された患者様の窓口請求、国や保険組合に対する診療報酬請求を省力化するシステム

※**オーダシステム**: 医師の指示(オーダ)をシステム経由で、担当部署へ指示が伝わるシステム

※**中小規模病院**: 一般的に 200 床以上が大規模病院、19 床以下が診療所と呼ばれており、それ以外が中小規模の病院となります。

患者様が単なる医療サービスの受け手から、主体性を持った参加者になりつつあるなか、診療録の開示は、お互いの信頼関係を築き上げ、質の高い医療を行う上で、重要な要素の一つと言えることから、電子カルテのニーズは高まっています。このような状況において、政府からの補助が概ね 200 床以上の大規模の病院に優先されていることから、中小規模の病院が電子カルテを導入すると大きな初期投資が必要となるのが実情です。

今回発売される「Open-Karte」は最小限のコストで医事会計システム・オーダシステム・電子カルテ、さらには看護支援の管理システムという病院の運営に必要なシステムを提供します。また、インターネットという時間と場所を選ばないオープンな媒体を利用することで、医療機関からの一方的な開示に留まらず、患者様との双方向のコミュニケーションを実現しています。

※**当社では電子カルテシステムとして大病院向けや診療所向けのシステムも取り揃えています。**

1. 製品の特長

(1) 高いコストパフォーマンス

医事会計システム、オーダシステム、電子カルテのほか、看護支援をはじめとする、院内の各部門にて必要な機能を盛り込むことにより、コストパフォーマンスの高いシステムの提供を実現しました。これにより中小規模病院の電子カルテシステム導入をより現実的なものになります。

(2) 低ランニングコスト

端末のパソコンに、電子カルテを見るための専用ソフトが一切不要です。システム導入後も端末の増設が容易で、ソフトのバージョンアップ作業も必要なく、ランニングコストを大幅に削減できます。

(3) インターネット感覚の使いやすさ

業務に沿った画面展開やワンタッチオペレーションにより、高い操作性を実現しました。

(4) 「クリティカルパス」を標準搭載

クリティカルパス機能を搭載することで患者の検査履歴や、必要な診療情報等をリアルタイムで把握することができ、患者様にも理解しやすい画面環境を提供します。

※**クリティカルパス**: 一人の患者様に対する治療・検査・ケア・処置・指導などの内容やタイミング、状態などを時間軸に沿ってまとめたもの。

(5) シームレスなシステム連動

「Open-Karte」は Web を媒体としたシステムです。PACS、臨床検査システム、生理検査システム等を Web でリンクすることにより、各種検査画像を含めた結果を同一端末上で参照できます。また簡易 RIS として MWM サーバ機能(オプション)も提供可能です。

※PACS:Picture Archiving and Communication System の略で、医療画像を保存・配信を管理するシステム

※RIS:Radiology Information System の略で、放射線部門の情報を管理するシステム

※MWM サーバ機能:DICOM Modality Worklist Management の略

2. 発売時期: 平成 15 年 12 月

3. 初年度販売予定: 国内 20 システム

【このニュースのお問い合わせ先】

株式会社日立メディコ 広報担当 西田、杉原

〒101-0047 東京都千代田区内神田一丁目 1 番 14 号

TEL 03-3291-6391

製品担当 五十嵐

101-0047 東京都千代田区内神田一丁目 2 番 10 号

TEL 03-3293-1654

URL <http://www.hitachi-medical.co.jp/>